

# 北陸地方建設事業推進協議会 平成26年度「建設技術報告会」開催のご案内

平成26年度「建設技術報告会」は、北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図ることを目的に開催するものです。

本報告会は、今回で19回目となり、昨年は500名を越える行政・民間の技術者の方々が聴講されました。

今年も、皆様方の多数のご参加をお待ちしています。

なお、本報告会はCPD(継続教育)プログラムおよびCPDS(継続学習制度)学習プログラムの登録を予定しています。

## ■開催日時

平成26年 9月25日(木) 9時30分～16時30分

受付 9時00分～

開会式 9時30分～ 9時40分 第1会場〔3階メインホール〕

基調講演 9時40分～10時40分 第1会場〔3階メインホール〕

「北陸地方の塩害及びASRによる劣化事例から学ぶ社会インフラの長寿命化対策」

金沢大学 理工研究域 環境デザイン学系 教授 鳥居 和之

技術報告 10時50分～16時10分 第1会場〔3階メインホール〕

第2会場〔2階多目的会議室〕

閉会式 16時20分～16時30分 第1会場〔3階メインホール〕

## ■開催場所

富山国際会議場(大手町フォーラム)

住所: 〒930-0084 富山市大手町1番2号

電話: 076-424-5931

駐車場: 富山国際会議場地下駐車場

◆駐車台数 125台

・営業時間: 24時間

・料金: 1時間まで 300円

以降30分ごと 100円

《交通アクセス》

◆JR富山駅利用

・バス: 約5分「城址公園前」下車 徒歩3分

・徒歩: 城址大通りを南へ約15分

・市内電車(セントラム): 約7分「国際会議場前」下車

◆自動車利用

北陸自動車道 富山IC より約10分

北陸自動車道 富山西IC より約20分

◆新潟空港利用

・タクシーで約20分

・バス(空港連絡バス): 約25分「総曲輪(そうがわ)」下車 徒歩2分

詳細は富山国際会議場のホームページをご覧ください。( <http://www.ticc.co.jp/> )



## ■主 催

北陸地方建設事業推進協議会 平成 26 年度「建設技術報告会」実行委員会

- ・北陸地方整備局・新潟県・富山県・石川県・新潟市・東日本高速道路(株)新潟支社
- ・中日本高速道路(株)金沢支社・(一社)日本建設業連合会北陸支部
- ・(一社)日本道路建設業協会北陸支部・(一社)新潟県建設業協会・(一社)富山県建設業協会
- ・(一社)石川県建設業協会・(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部
- ・(一社)日本建設機械施工協会北陸支部・北陸土木コンクリート製品技術協会
- ・(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部・北陸PC防雪技術協会
- ・(一社)新潟県融雪技術協会・(一財)新潟県建設技術センター・北陸地質調査業協会
- ・(一社)日本埋立浚渫協会北陸支部・(一社)北陸地域づくり協会
- ・(一社)日本橋梁建設協会北陸事務所

## ■技術報告等

下記の7テーマにそって、36技術の報告を予定しています。

### ①社会資本の的確な維持管理・更新

(維持管理、長寿命化、更新に関する新技術 等)

### ②雪に強い地域づくり

(克雪対策、冬期道路交通の安全確保・安全性に関する新技術 等)

### ③良いものを安く

(生産性向上、コスト縮減、省力化に関する新技術 等)

### ④自然災害からの安全確保

(危機管理、土石流などの防災に関する新技術 等)

### ⑤環境の保全と創造

(建設副産物、リサイクル、省エネルギー、再生可能エネルギーに関する新技術 等)

### ⑥ゆとりと福祉

(情報化、バリアフリーに関する新技術 等)

### ⑦その他

(上記①～⑥に属さない新技術 等)

○その他展示コーナー〔3階ホワイエ〕ーメインホール前ー

(1)パネル等展示コーナー

民間企業等で開発された新技術・新工法などをポスターセッション方式でパネル・パンフレット及び模型により紹介します。

\* 29技術の展示を予定します。

プログラム(発表時間割等)及び報告論文を北陸地方整備局北陸技術事務所のホームページ(URL: <http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/>)に掲載しますのでご利用ください。  
なお、本報告会当日に報告論文の配布はいたしませんので、各位においてご準備ください。

## ■CPD および CPDS

本報告会(基調講演含む)は、建設系CPD協議会によるCPD(継続教育)および社団法人全国土木施工管理技士会連合会のCPDS(継続学習制度)プログラムの認定講習を予定しています。

受講証明を希望される方は聴講申し込み時に、CPDまたはCPDSの「単位の申請希望」欄に希望有無を書き添えて下さい。

なお、受講証明書の発行は本報告会当日の受講を完了した方とさせていただきます。

■聴講費

無 料

■聴講申込期限

平成26年 8月29日(金) 必着

■申し込み・問い合わせ先

北陸地方建設事業推進協議会 平成26年度「建設技術報告会」実行委員会事務局

〔 国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所内  
担当：技術情報管理官【新技術】， 施工調査・技術活用課 技術活用係長 〕

〒950-1101 新潟市西区山田2310番地5

TEL：025-231-1281（代表） FAX：025-231-1283

E-mail：hokugi-info@hrr.mlit.go.jp

URL：http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/

**※申込み方法は、電子メールを基本とさせていただきます。**

なお、メールの件名記入欄については、下記の条件で記載ください。

◆ 件名記入欄の記載方法

【報告会申込み】○○○○ ← 会社等名

## 平成26年度「建設技術報告会」 聴講申込書

E-Mail : hokugi-info@hrr.mlit.go.jp

北陸地方建設事業推進協議会  
 平成26年度「建設技術報告会」実行委員会事務局  
 (国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所内)  
 担当：施工調査・技術活用課 技術活用係長 行き

機関・会社名など

---

送信者 氏名

TEL

---

部署・課など	氏 名	希望会場 1 又は 2	CPD 申請希望	CPDS 申請希望
計	名		名	名

注) 各会場の人数把握のため、聴講希望会場を第1会場又は第2会場のいずれかを記入して下さい。(途中の出入りは自由です)

本報告会は CPD 及び CPDS の学習プログラム認定講習を予定しています。単位申請を希望される方は「CPD または CPDS 申請希望」欄のいずれかに○を付けて下さい。(CPD と CPDS 両方の同時申請は出来ません。) なお、受講証明書の発行は本報告会当日の受講を完了した方とさせていただきます。  
 本申込書に記入された個人情報は、本報告会以外の目的での使用は一切致しません。  
 また、報告技術論文については、以下の「建設技術報告会」ホームページに掲載(8月中旬予定)いたしますので、各位でダウンロードしてご利用下さい。

URL : <http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/news/houkokukai/index.htm>

# 北陸地方建設事業推進協議会 平成26年度「建設技術報告会」プログラム

## 第1会場 [メインホール：3階]

### ▼開会式

9:30 ~ 9:40	開会挨拶	小口 浩	北陸地方整備局 企画部長
-------------	------	------	--------------

### ▼基調講演

9:40 ~ 10:40	「北陸地方の塩害及びASRによる劣化事例から学ぶ社会インフラの長寿命化対策」	鳥居 和之	金沢大学 理工学研究域 環境デザイン学系 教授
--------------	--	-------	-------------------------

10:40 ~ 10:50 (聴講者移動・会場整理)

### ▼技術報告

1	10:50 ~ 11:04	① 老朽化した道路橋点検に関する地方公共団体支援について	若月 大	北陸地方整備局 北陸技術事務所
2	11:04 ~ 11:18	① めっき下地と金属溶射を用いた二重防錆ポルト	大野 克紀	川田工業(株) 北陸事業部 富山工場
3	11:18 ~ 11:32	① わだち掘れ抑制対策としての遮熱性舗装適用例	高畑 浩二	NIPPO(株) 北信越支店 技術グループ
4	11:18 ~ 11:46	① ネブラス工法	高橋 和義	高橋土建(株) ネブラス事業部
5	11:46 ~ 12:00	① 重交通などに対応した路面維持工法STRパコート	片山 潤之介	世紀東急工業(株) 技術部
12:00 ~ 13:00 休憩(昼食)				
6	13:00 ~ 13:14	① FPR防護板を用いた橋梁の防食技術	山下 修平	宮地エンジニアリング(株) 橋梁事業本部 計画部 計画G
7	13:14 ~ 13:28	① コンクリート舗装上のオーバーレイ層に適用したリアレクシオンクラックの発生を抑制する舗装	細野 路登	大成ロテック(株) 技術研究所
8	13:28 13:42	① 中島閘門放水路水門補修工事について	伊藤 彰規	富山県 富山土木センター 施設管理課 道路施設班
9	13:28 ~ 13:56	① 空港工コンクリート舗装における接着剤塗布型着オーバレイ工法に適用させた接着剤塗布種機の開発と施工報告について	伊藤 清志	鹿島道路(株) 生産技術本部 技術部
10	13:56 ~ 14:10	① 伸縮式ストラット工法	吉原 到	あおみ建設(株) 土木本部 技術開発部
14:10 ~ 14:20 休憩				

### 第Iグループ

### 第IIグループ

### 第IIIグループ

### 第IVグループ

16:12 ~ 16:22 休憩(会場整理)

### ▼閉会式

16:22 ~ 16:32	総評・閉会挨拶	今野 和則	「平成26年度建設技術報告会」実行委員長 (北陸地方整備局 北陸技術事務所長)
---------------	---------	-------	---

### ▼CPD・CPDS

16:40 ~ 17:00 受講証明書の発行(CPD/CPDS受付にてCPDまたはCPDSの受講証明書を発行します)

## 第2会場 [多目的会議室201・202・203：2階]

10:40 ~ 10:50 (聴講者移動)

### ▼技術報告

1	10:50 ~ 11:04	④ 建設機械による無人化・自律施工	片山 三郎	大成建設(株) 技術センター 土木技術開発部 先端技術開発室
2	11:04 ~ 11:18	④ 開放型耐震補強工法 SMIC工法	稲田 誠	名工建設(株) 建築本部 建築技術部 SMIC事業課
3	11:18 ~ 11:32	④ 一般県道清水小滝谷線道路災害復旧事業について	清水 陸生	富山県 土木部 建築住宅課 景観係
4	11:18 ~ 11:46	④ ハルーングラウト工法	大野 康年	東亜建設工業(株) 土木事業本部 エンジニアリング事業部 防災事業室
5	11:46 ~ 12:00	④ 没水型港内長周期波対策構造物	松本 朗	(株)不動テトラ プロック環境事業本部 総合技術研究所
12:00 ~ 13:00 休憩(昼食)				
6	13:00 ~ 13:14	④ 下新川海岸の水防警報発令判断プログラムの改良について	北川 正良	北陸地方整備局 黒部河川事務所
7	13:14 ~ 13:28	④ 厳しい施工条件下でも対応可能な液状化対策技術 -SAVE-SP工法-	高山 英作	(株)不動テトラ 北関東支店 研究室
8	13:28 13:42	⑤ トンネル発破低周波音抑制技術「プラスチックウェイクター(BWE)」	西村 晋一	清水建設(株) 土木技術本部 技術開発部
9	13:28 ~ 13:56	⑤ 樹脂固定による制振軌道の施工事例と供用性の評価	関 賢治	日本道路(株) 営業本部 技術営業部
10	13:56 ~ 14:10	⑤ 泥土リサイクル技術 ポンテラン工法	橋本 和義	(株)宮地組
14:10 ~ 14:20 休憩				

11	14:20 ~ 14:34	⑦ 伏木富山港(新湊地区)臨港道路東西線(新湊大橋)のケーブル振動対策について	清水 美代	北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所
12	14:34 ~ 14:48	⑦ シェル型浸透固化処理工法	秋本 哲平	五洋建設(株) 技術研究所
13	14:48 ~ 15:02	⑦ 超高強度繊維補強コンクリートによる場所打ちでの道路橋の施工	川崎 文義	鹿島建設(株) 北陸支店 小滝川橋梁工事事務所
14	15:02 ~ 15:16	⑦ Ap_pass工法(大型プレキャストアーチカルバート)	波形 武晴	日本サミコン(株) 工務部
15	15:16 ~ 15:30	② フル・ファンクション・ベープ(FFP)追跡調査結果について	濱崎 あいみ	(株)ガイアート・K 東北支店 工務部
16	15:30 ~ 15:44	② 粗面型ゴム粒子入り凍結抑制舗装「アイストップパー」	澤田 修平	大林道路(株) 技術研究所
17	15:44 ~ 15:58	② 雪道で役立つ様々な舗装技術	佐藤 慶彦	福田道路(株) 技術研究所
18	15:58 ~ 16:12	② 地中熱利用ヒートパイプ融雪工法の施工事例	大橋 勝人	(株)興和 水工部

16:12 ~ 16:22 休憩(第1会場[メインホール]に移動)

報告テーマ ①-「社会資本の的確な維持管理・更新」 ②-「雪に強い地域づくり」  
 ③-「良いものを安く」 ④-「自然災害からの安全確保」 ⑤-「環境の保全と創造」  
 ⑥-「ゆとりと福祉」 ⑦-「その他」